

新計画策定会議国際問題検討WG(第2回)議事概要

1. 日 時 平成17年3月16日(水)9:30~12:00

2. 場 所 タイム24ビル セミナールーム3

3. 議 題

(1)原子力利用に関する国際協力のあり方

(2)その他

4. 配布資料

資料第1号 原子力に関する国際協力のあり方

資料第2号 委員からいただいたご質問について

資料第3号 MNA(核燃料サイクルへのマルチラテラル・アプローチ)国際専門家グループ報告書

資料第4号 新計画策定会議 国際問題検討WG(第1回)議事録

5. 出席者

WG委員:内藤委員(座長)、遠藤顧問、若林代理、神田委員、黒澤委員、鈴木委員、須藤委員、宅間委員、千野委員、齊藤代理、武黒代理、山名委員

原子力委員:近藤委員長(新計画策定会議議長)、齋藤委員長代理、木元委員、町委員、前田委員

内閣府:戸谷参事官、後藤企画官、森本企画官、犬塚補佐

6. 議事概要

まず、内藤委員(座長)の冒頭挨拶の後、事務局より第1回WGで頂いた質問への回答、MNA国際専門家グループ報告書および原子力に関する国際協力のあり方に関して、配布資料に沿って説明の後、議論が行われた。

主な意見は、以下の通り。

(1)核不拡散の確保について

- MNAの前提としては、濃縮ウランやプルトニウムの使用を減らそうというコンセンサスがあるという事も押さえるべき。また、他国から見れば、その日本の政府の意見も政治家、学者の意見も含めて日本の意見であり、これらの意見に対して原子力委員会は反応すべき。
- 特定のテーマだけが大きく報道されるくらいがあるが、これは核不拡散のための包括的な戦略の中に位置づけられて議論されるべき。我が国もそうした戦略にコミットしているのだから。
- エルバラダイ構想と専門家グループの報告書は別のものであるが、報道する過程で、受け止める側によっては区別が付かなくなる恐れがある。日本はその懸念をIAEA側に正しく伝えるべきではないか。また、海外においてはどのように受け止められているのか。

- 核不拡散分野における国際的な行政活動は外務省の所管であり、同省のマスメディアへの伝達、国民への説明がまずは重要であるが、関連部局においても適切な対応があるべきであるということであろう。検討が必要。
- 平和利用の権利の確保と核不拡散の担保について、どうバランスをとるのか。多国間アプローチは両方を担保することができる解決策の1つではないか。

(2)国際協力について

- 我が国の技術は国際的な関係によって成立している面があるのだから、国際協力は、我が国の技術開発活動の一部として実施していくような強い表現が必要。
- 地政学的にも経済的にも緊密なアジアに対して日本は主体的・能動的に国際協力を行っていくべき。また、中国と韓国に対しては対等な関係での研究協力が多くなってきており、国毎よりも分野毎のニーズを踏まえて実施すべき。
- 開発途上国協力においては、協力案件が相手国の発展計画のなかに適切に位置づけられていない場合が多いので、政府の高いレベルにおいて原子力協力を通じて科学技術の進歩を図ることがその国の社会発展あるいは経済発展に資することについての理解が重要である。
- インドとの関係は、NPTに入るべきという原理原則は日本として放棄できないが、それを維持した上で、インドとの関係の重要性は認識すべき。例えば安全分野に限った交流や、エネルギー政策といった大きな観点から原子力に関して対話をするということであってもいいのではないか。
- 国際協力の戦略目標として、安全性確保、核不拡散やテロリスクの最小化、原子力産業の国際展開の支援などをあらかじめ協力の枠組に入れていくことが大事であり、そのためには二国間及び多国間協力協定を早く締結すべき。
- 人材交流制度について、日本の制度は協力機関ごとに分かれており、途上国からすれば非常に分かりにくいという縦割りの問題がある。また、FNCAあるいは二国間協力という具体的な協力との連携が重要であり、戦略的に研究者の交流を進めるべき。
- 先進国協力について、日本は第4世代国際フォーラム(GIF)における協力を主導的な立場で進めていくべき。また、大規模な施設を国際拠点として様々なプロジェクトに積極的に活用すべき。

- 国際機関の邦人職員の少なさは、原子力に限った問題ではないが、日本の組織におけるキャリアパス、賃金等が関連して生じる問題。国際機関の勤務経験者は広い視野や高いコミュニケーション能力を磨いて戻ってくるのが評価されてよいのではないか。
- 日本の協力体制について、例えばODA事業では外務省が一元的に把握する制度になっているが、原子力関係でも同様のものを検討すべきではないか。また、関係省庁間で定期的な連絡会議を行うべき。

以上